



①ママと一緒に料理に、子どもたちも夢中です。

②防災紙芝居の読み聞かせ。地震が起きたら、ママと一緒に、頑丈な机などの下に避難しましょう！

すくっぴー親子DEクッキング 親子で防災クッキング！

6月28日火曜日、すくっぴーひろばで、13組30人の親子が参加して、サバ・メシ（災害時の食事）づくりをしました。防災士で、仙台市地域防災リーダーの佐藤亜矢子さんを講師に、切干大根と芽ひじきの炊き込みご飯、野菜のスープ煮、じゃがりこのポテトサラダ、ペットボトルのフルーツジュースで寒天デザート of 4品を作りました。「ポリ袋に入れた食材を煮るだけ」、「混ぜるだけ」といった、災害時、少ない水やエネルギーで作ることのできるメニューです。参加した方からは、「家に普段あるもので調理できたので、とても役に立った。いざ、災害が起きたときに、冷静にできるかわからないが、(サバ・メシの)知識があるのとないのでは、対応が違うと思う。」「災害時は、とっさに思い浮かばないと思うので、実際に作ってみて、知識として知っておくのはとても大切」といった感想がありました。災害時は特に、小さいお子さんのいるご家庭は、食事面でも苦勞することが多いと思います。家族を守るためにも、普段からの備えを大切にしましょう。



子育て親子と高校生と一緒に学ぶ「安全」

7月14日木曜日、多賀城高校で、乳幼児とママ6組と、災害科学科の生徒38人が、子育てにおける防災や災害への備えなどについて、一緒に話し合う授業がありました。

高校生たちは、災害に備えて普段から準備しているものなど、ママたちからの防災のアドバイスなどを聞きました。その後、赤ちゃんの抱っこ体験もありました。ママと赤ちゃんとのふれあいを通じ、命の大切さ、安全（防災・減災）、将来の育児イメージも感じていたようでした。

すくっぴー親子DEクッキング ゼラチンで簡単においしく

7月17日(日曜日)、すくっぴーひろばで、地元企業のゼライス㈱の協力で、11組の親子が、そうめんつゆをゼラチンでジュレ状にした「七タジュレそうめん」、ジュースにゼラチンを加えた「オレンジジュレドリンク」の夏にぴったりの2品を作りました。「ゼラチン」は何からできているか、文具にも使われているという意外なゼラチンの使われ方などのミニ講話もありました。

調理では、湯せんで溶かしたゼラチンをまぜたり、そうめんの飾り用のハムや薄焼き卵を星の型で抜いたり、子どもたちは一生懸命お手伝いしてくれました。

「ゼラチンが固まる様子が子どもにはおもしろかったみたい。」「家庭でも作ってみたい。」などの感想が聞かれました。今日のために作られた、濃度の高いゼラチンで作った、特製の「すくっぴー」(多賀城市の子育て応援キャラクター)も登場。ゴムのような触感に、子どもたちは大喜びでした。



七夕まつりで親子も交流

7月7日(木曜日)は七夕。公立保育所地域子育て支援事業の一環として、地域の親子9組が、鶴ヶ谷保育所の子どもたちと一緒に「七夕まつり」に参加しました。「七夕まつり」の後は、保育所の先生を交えての子育て情報交換会。お茶やお菓子をいただきながら、保育所の情報を聞いたり、お母さん同士でおしゃべりを楽しみました。

公立保育所(鶴ヶ谷、志引、八幡、笠神、桜木)では、毎月、地域の親子を対象にした事業を行っています。広報多賀城などでチェックして、ぜひ、ご参加ください。



ビアサミットで三館合同キッズコーナー

7月16日と17日、多賀城駅北口ひろばで開催された「TAGAJO BEER SUMMIT2016」。すくっぴーひろば、鶴ヶ谷児童館、西部児童センターが合同で、子どものための工作や絵本の読み聞かせを行いました。両日合わせて、200人の親子が来場。折り紙で「時計」「ネックレス」「吹きコマ」「ぶっくり星」などを作りました。子どもたちは夢中になって、いろいろな工作に挑戦していました。



soda+(そだつ)は、「多賀城で楽しく育つ」ための、子育て世代応援のための情報誌です。子育てママやパパ達と一緒に作り上げます。
soda+は、「soda(育つ)」と「t(多賀城のt)」を掛け合わせた言葉です。
子どもが育つ、大人が育つ、だから、まちが育つ...をコンセプトに、これからも、素敵な情報発信をしていきます!